

日 時：2024年11月24日（日）18:00～19:15

場 所：向原生涯学習センターみらい

参加者：16名

○対話集会でいただいた意見や要望をまとめました。

1 統合そのものについて

- ・本当は統合してほしくない。地域が寂れる。財政面が厳しい中で、新しい校舎にお金をかける必要があるのか疑問。

【市長コメント】

6校維持は現実的ではないと思っています。基本的には1校か2校と考えています。

- ・ハード面が主体になっているのでは。資料がお金、ハード中心の資料となっている。
- ・魅力ある中学校にならないと子どもが行きたがらない。全国から来てもらえるような学校を。
- ・人数が減っているから仕方がないのかもしれない。統合は寂しい気持ち。
- ・小4の保護者としては1校案に賛成である。
- ・集団行動ができる場（学校）をつくってほしい。
- ・小4の子どもの想いを叶えてやりたいので、統合が延びそうなので、向原中学校以外も考えている。

2 統合の進め方について

- ・子どもの学びのために先生の声をきいてもらいたい。
- ・1人1人の子どもにとって今の教育に課題があるのか。子どもがどういう問題を抱えているのか子どもの意見を聞くのがよいのではないか。

【市長コメント】

1月に各中学校に行き、中学生の声を聴くように計画しています。

- ・統合の当事者は小学生になるので、5・6年生にも聞いてみたらどうか。

【市長コメント】

教育委員会と検討してみます。

- ・小学校低学年にも意見を聞いたり情報提供したりすべき。判断は別として、声なき声を拾ってほしい。
- ・数年前から統合の話があり、今小4になる子は、統合中学校に行けるかと思っていたが、この調子では難しい状況。子どもは、部活動を楽しみにしていた。なぜ早くしてもらえないのか。
- ・親世代は1校と思っている。「いつできるのか、通学はどうなるか」といった具体的なことを気にしている。早く決めてほしい。

3 校数と位置について

- ・お金の事だけなら、各町小中を1つにする案はどうか。学校が半分に減り、維持費も減る。
- ・小中学校統合はないのか。各町で小中学校の統合をすれば6つの学校のコストが減るのでは。

4 教育について

- ・統合前には生徒同士が交流したり、ICTを活用したりしたらどうか
- ・望まれる学校規模は、「1学級あたり20名～30名程度」となっているので、文部科学省の1クラス35人や40人より少ない学級編制になるということですかね。

5 通学について

- ・スクールバスに乗り遅れた人や、学校に行く事やスクールバスに乗ることがしんどい子はど
うなる？学校に行ったけどしんどい子は朝学校に行って帰りまで待たないと行けない？

【市長コメント】

不登校の子について、学校に通うことを前提にするのではなく、フリースクールなど学びを
しっかりと保証していく多様な選択肢が必要です。

- ・スクールバスの人員確保が心配。

6 部活動について

- ・部活動がしたくてもやりたい部活がない学校に子どもは行きたがらない。子どもの想いや意
見を聞いて、それが実現できるようにしてやるのが大人の努めだと思う。

7 不登校について

- ・学校に来れない人のためのオンライン授業があってもよいかと思う。
- ・不登校の子どもはバス通学になるとますます行きにくくなるのでは。オンライン授業で不登
校は解消される？

【市長コメント】

学校に行くだけでなく、その子の状況に応じた学びを保障する必要があると思います。

8 財政について

- ・子どもの未来を守ってほしい。そのためにも、校舎等、子どもに適正な額を使ってほしい。

9 その他

- ・先生は要らない仕事が多いのでは？もっと生徒と向き合うことが必要では？
- ・小4の娘が地元中には行かないかもと急に言い出した。中学受験をする子もいる。
- ・今回の対話の目的は何なのか。再度確認する必要があると思う。教育委員会が置き去りにな
っていないかと心配する。